



2022年2月14日

各位

上場会社名 ムーンバット株式会社
 代表者 代表取締役・会長兼社長執行役員 中村 卓司
 (コード番号 8115 東証市場第二部)
 問合せ先責任者 常務執行役員 管理本部長 山本 聡
 (TEL. 075-361-0381)

業績予想及び配当予想の修正ならびに 中期経営計画の数値目標の取り下げに関するお知らせ

当社グループは、本日発表いたしました2022年3月期 第3四半期決算において、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想及び配当予想の修正ならびに中期経営計画〔2021-2023年度〕の数値目標を取り下げることにいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	100	120	90	18.85
今回発表予想(B)	7,500	△550	△450	△300	△62.83
増減額(B-A)	△1,500	△650	△570	△390	
増減率(%)	△16.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	7,170	△717	△607	△1,858	△389.09

(2) 修正の理由

2021年5月13日に通期連結業績予想を公表した時点における想定以上に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動の制約や販売機会の喪失の影響が大きく、新たな新型コロナ変異株等による感染拡大の懸念も有り、本格的な消費動向の回復は見通しづらい状況となっております。

売上高は、EC事業、直営店事業等前年同期比大幅増収の部門もあるものの、主力販路である百貨店部門の回復が想定よりも悪く計画を大幅に下回る見込みとなりました。

損益面では、前年度より推進中の構造改革による販売管理費等の抜本的見直し、削減が想定以上に進捗しているものの、製品生産国の原材料・人件費の上昇、海上運賃の高騰等による仕入コストの上昇及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のライセンス商品を損失計上した影響も有り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも計画を下回る見込みとなりました。

なお、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のライセンス商品の在庫につきましては、当社のサステナビリティ方針に基づき、その大宗を地方公共団体、福祉団体等に寄贈することにより、環境に配慮した取扱に努めました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想	0 円 00 銭	6 円 00 銭	6 円 00 銭
今 回 発 表 予 想		3 円 00 銭	3 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭		
前 期 実 績 (2021 年 3 月 期)	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、業績の状況及び財務状況を勘案し、株主の皆様に対し継続的・安定的な配当を行っていくことを基本方針としております。

しかしながら、2022年3月期の期末配当につきましては、今回の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではございますが、1株当たり6円から3円とすることを予定しております。

3. 中期経営計画の数値目標の取り下げについて

当社は2021年5月13日に2024年3月期を最終年度とする中期経営計画を公表し、各種施策に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束時期やそれに伴う消費者のライフスタイル、購買志向の変化などが見通せない事業環境の下、当社グループは売上高、利益とも大きな影響を受けると想定されることから、現時点で中期経営計画の数値目標を合理的に算出することが困難であり、現中期経営計画の数値目標を取り下げることにいたします。

なお、現中期経営計画の施策面につきましては引き続き取り組んでまいります。

新たな数値目標を設定した中期経営計画につきましては、事業環境を総合的に判断し、改めて合理的に策定できるようになった時点で速やかに公表いたします。

以 上